

J A 自己改革推進レポートについて

令和 7 年 1 月 2 3 日

J A 鳥取県中央会

1. J A 自己改革実践状況

(1) J A 鳥取西部の取り組み

①「おにぎり朝ごはんプロジェクト」を初実施

J A 鳥取西部は 1 1 月 1 日、米子市の鳥取大学医学部で「おにぎり朝ごはんプロジェクト」を実施した。

このプロジェクトは同 J A 合併 3 0 周年を記念した取り組みで、学生が手軽に朝食をとることができる機会を提供することで朝食の重要性を啓発するとともに、「星空舞」の P R を目的として、初めて実施された。当日は、同 J A の職員が鮭とおかかの入ったおにぎり合計 1 0 0 0 個を無料で配布した。



おにぎりを受け取った学生は「お米がおいしかった。ひとり暮らしを始めて朝食は食べなくなりましたが、おにぎりを食べて頑張れそうです」と話した。同 J A の森脇参事は「1 日頑張っていくためには朝食が必要。今後、医療に関わっていく学生の皆さんにはしっかり食べてもらい、勉強や研修に勤しんでほしい」と話した。

②給食で地元の特産白ネギ「伯州美人」を味わう

令和 6 年 8 月に地理的表示 (G I) 保護制度に登録された地元の特産白ネギ「伯州美人」を使った給食が 1 2 月 1 7 日、米子市内の小・中学校 1 6 校に提供された。

当日、 J A 鳥取西部の職員が福米東小学校を訪れ「伯州美人」についてクイズを交えて児童に紹介した。その後児童は「じゃぶ煮」と呼ばれる野菜や肉の煮込み料理を味わった。



児童は「ねぎが柔らかくておいしかった。晩ご飯でもたくさん食べたい。おいしいねぎをありがとう」と話した。同 J A の担当者は「おいしそうに食べてもらえた。地元特産の『伯州美人』を食べて、元気に育ててほしい」と話した。

以上